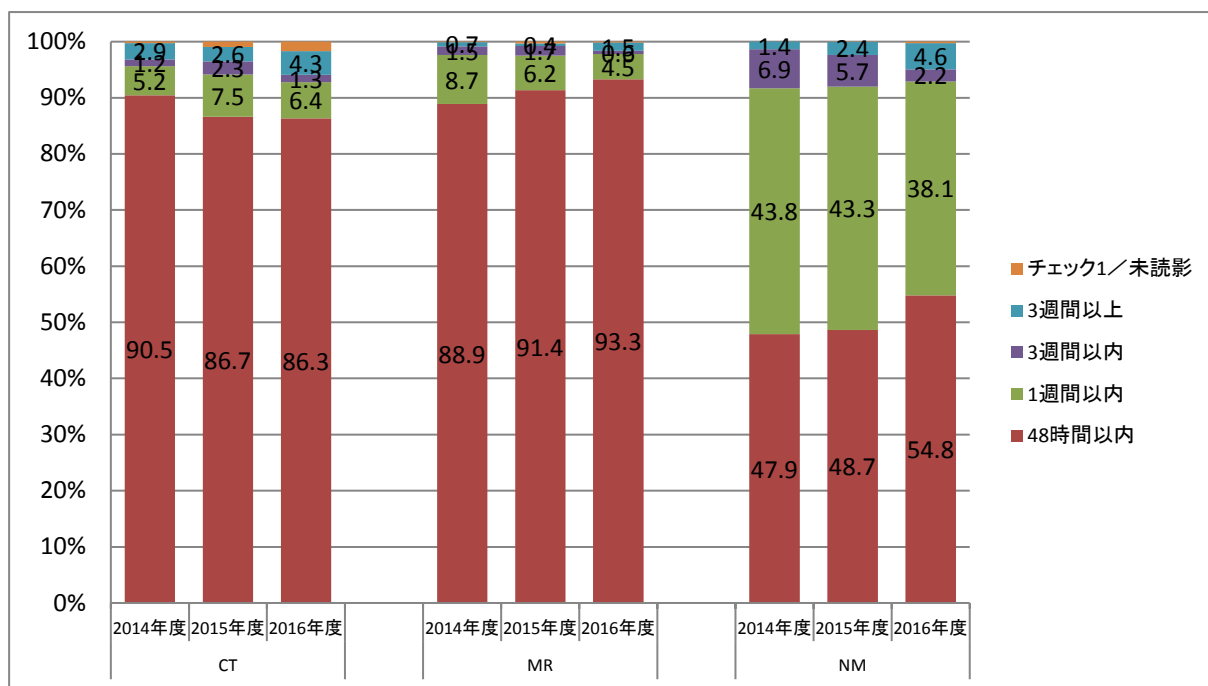


40. 放射線科医による読影レポート作成時間の割合



画像診断が行われるまでの期間の短縮は、より良い医療の提供において必須事項である。また、画像診断の専門医による読影は、正確な診断と質の高い治療を行う上で非常に重要である。

当院においては、検査の予約枠を見直す事により、CT検査・MRI検査・核医学検査において検査件数の増加を達成してきた。

2016年度の読影レポート作成に係る概要は、放射線診断専門医による報告書については、CT検査の約86%が48時間以内に読影され、報告書が記載されている。その後、報告書作成率は1週間以内で約93%に達する。

MRI検査においてもCT検査と同様な傾向を示すが、48時間以内の報告書作成率はCT検査よりやや高く、約93%である。その後、1週間以内では約98%の割合で報告書が記載されている。

核医学検査については、検査後の画像解析・処理に時間を要し、その結果48時間以内の報告書作成率は約55%程度となっている。ただし、1週間以内では90%を超える作成割合となる。

CT検査・MRI検査・核医学検査の全てについて、MRIと核医学については微増ながら、48時間以内の報告書の作成率が上がっている。しかし、報告書記載が100%行われるには至らなかった。

正確な診断と質の高い治療を提供するためにも、画像診断による読影報告書は迅速かつ正確に作成される必要がある。

データ提供：放射線部